



—今を生きる

—剣士達—

日々の鍛錬により
心と技をみがき、己に打ち勝つ
頂点へ向かって今を生きる剣士達



OB会記念写真

愛媛大学剣道部は昭和三十一年に創部された。愛媛大学教育学部に入学された広島出身の平尾晃氏の呼びかけにより部ができあがった。当時教育学部勤務であった藤原元晴氏を顧問とし少人数でのスタートとなった。しかし大学には稽古場がなく、大学の記念講堂を借りたり、松山大（当時松山商科大学）、刑

務所、松山東署への出稽古を行ったりした。途中愛媛大学附属中学校の教室（旧制松山高専学校の武道場）を借り、練習を続けたが昭和四三年二月二十八日、念願の武道場が校内にできて、現在へと至る。

年間行事としては、四月には道後公園、または城山で花見がある。入学式前ということ、新一回生抜きの花見である。新入生が入部してくると、新入生は、自己紹介を行ない、合格して初めて部員として認められる。そのうち、一・二回生顔見せ、一・三回生顔見せ、新歓コンパと続いて、上級生との交流をはかる。六月、中四国個人戦を最後に引退して行く四回生から三回生へと幹部交替が行なわれる。

八月、中四国優勝大会へ向けての合宿。全日本選手権大会への出場権を得るため、猛暑の中、厳しい練習に明け暮れる。

十一月、学祭、OB会と忙しく、また楽しみが多い月である。学祭時には松山大学が陣中見舞いに来てくれ、合同コンパとなる。学祭では毎年御輿を作り、旧幹部をのせ市内目抜き通りをねり歩く。OB会では、OBの方々と親善試合を行なう。また、松山大学とは毎年愛松戦と呼ばれる交流試合も行なう。

十二月、一年間の反省と、来年への英気を養うための忘年会。

一月、道後武道館で寒稽古が行なわれる。朝日の登らぬうちから練習を始める。わずか

SEIZE THE DAY

歴史 昭和31年創部
昭和48年OB会結成

顧問 大森 博之
監督 青木 恒男
主将 藤村 安彦
副主将 牛之濱輝幸
松樹 伸明

主務 岡田 拓也
部員数 男子22名 女子9名

平成6年戦績

- ・中四国個人戦第41回大会
藤村安彦 ベスト8
松樹伸明 ベスト16
- ・第42回全日本学生剣道選手権大会
藤村安彦 2回戦敗退
松樹伸明 1回戦敗退



学園祭風景



全日へ、日本武道館

六日間とはいえつらい。また、四回生追い出しコンパがある。四回生とのコンパも最後なのでひとときわもりあがる。

三月、新学期へ向け春合宿。主に体力トレーニング中心なので、スタミナ、筋力のアップをめざす。

機関紙活動の、「ますらを」は、部員の雑文と、その年の戦績をのせ、OBの方々への連絡にする。平成六年までに二六冊発行されている。

OB会は昭和四七年に結成された。本部は愛媛大学内。「ますらを」やOB会を通じ、卒業生と在校生との親睦を深めている。



今この一瞬を



宇部市内の大会で



宇部市内の大会で



試合の帰りに五重の塔で

・部の歴史

創立は昭和五九年ですが、短期大学だから最初は部ではなく、同好会でした。同好会の頃は、部員が一〜二人と少なくて高校生に混ざって稽古をするという状態でした。昭和六三年に部になり、現在は部員数も増えチームが作れるようになりました。

・戦績

最近では、平成五年に行なわれた岡山での新人戦では二人がベスト一六に入り、平成六年に行なわれた広島での優勝大会では団体戦でベスト八に入りました。地元の大会では常に優勝しています。

・稽古の様子

普段は基本を中心に稽古しています。短時間だけど部員一人一人が集中して稽古しているので、中身の濃い稽古です。試合前になるといつも同じ道場で稽古している高校生の男子と試合稽古をし、力をつけます。

・年間行事

歓迎会

新生が入部し、五月頃に部員全員で飲みに行きます。テンションがあがったところでカラオケに行き、全員で盛り上がります。そのおかげで一・二年生は、より仲良くなることができます。

送別会

短大なので二年間しかなく、二年生とはたっ

未来のために、

創部 昭和59年
部長 臼井 恵次
顧問 喜志多正範
主将 永井 康子
主務 御手洗恵美



宇部短期大学剣道部一同

たの一年間しか一緒に練習ができませんが二年生が二年生の為に盛大に送別会をしています。

・ 伝統
部になったのが昭和六三年で、受け継いできたものが少ないため、これからすばらしい伝統を作っていく予定です。

・ 監督・顧問
監督と顧問をかねて香川高校の教員である喜志多正範先生です。先生は、稽古中は厳しいのですが、面をとるとみんなを常に笑顔にさせてしまう楽しい先生です。

・ 大学祭
一月に入るとすぐ三日間にわたり、大学祭が行なわれます。わが剣道部は、その三日間で精一杯、『うどん』を売ります。毎年恒例のため、前年の反省点を次の年に生かしながら、味も、てぎわも着々と上達してきています。『前年よりも多く売る』を目標に、部員全員ががんばります。



大学祭での模擬店

大いなる 夢に向かって!



笑顔の準備運動



我が道場



きびしい地稽古

監督がいないのでお互いに注意しあったり、部員数の割に道場が狭いので集中してやってきました。

稽古は月曜日から金曜日まで、土曜日と日曜が休みです。四時から五時くらいの約一時間程度です。内容としては、最初の方は集合状況がよくないので各自で準備運動を済ませ、だいたいそろってきたら面をつけ、切り返しをして基本技から応用技をやります。その後、地稽古をやって終わります。時間が少ないのでこれ位しかできませんが、昔は走って素振りをして終わっていた事を耳にして驚きました。

岡山商科大学剣道部は昭和四二年に創設されました。しかし、部の歴史は全くと言っていいほど記録が残っていません。戦績といえば女子部の長尾幸江先輩が全日本個人ベスト八と岡山県内の大会で上位クラスにはいるくらいで、県外に出ると勝つことができません。

今、この瞬間に

創部	昭和42年	庶務	飯塚 洋
部長	橋 晋介	OB担当	河村 歩
主将	三宅 徹和	部員数	男子28名
副主将	堀田 昌宏		女子4名
主務	岡崎 伸昭		合計32名
幹事	岡崎 伸昭		
副幹事	藤田 太一		
会計	赤堀 淳子		

部のモットー・明るく 楽しく 元気よく！



今年的主力メンバー

らなければほとんど稽古ができません。

部の雰囲気は、主将中心に日々がんばり、上下関係はあまり厳しくなく、とても明るい部です。主将は明るく時には厳しい人です。この部の主将になると、監督がいないため、監督兼主将という形ですので大変苦労しています。部員全員で主将を助け一丸となつてがんばっています。

部のモットーは、明るく・楽しく・元気よくです。一番目の明るくはいつも笑顔を絶やさないと、二番目の楽しくは、楽しみながら自分に厳しく稽古に励む、三番目の元気よくは稽古の時いつも元気に声を出すことです。

年間行事としては五月初めの新入生歓迎会と卒業生追出し会があります。合宿・朝練・遠征などは一切ないので他の大学の部から見ると少し変に見えるでしょう。

後は地元の岡山理科大学との合同体育祭があり、大学祭では演武会があり、皆の前で形を打ちます。その後、岡山理科大学との飲み会があり、一年生が両方の部を行ったり来たりするので、このように我が部はあまり活発に活動はしていません。

他大学との交流は、岡山大学と年に一回練習試合をするかしないか、後は岡山理科大学との体育祭と学祭の飲み会くらいで、これくらいしか他の部との交流はありません。以上で我が剣道部の紹介を終わります。



岡大剣道部一同

部旗



岡山大学剣道部第一部歌

- 1、破邪顕正の使命受け
集う男子が相打てば
猛虎の精気ここに満つ
我らが岡大剣道部
- 2、半田山麓幾星霜
剣光冴えて闘志湧き
必死の気宇天を突く
りんたり岡大剣道部
- 3、先進星と連なれる
栄えの歴史の思い出は
壮士雄飛の雲を呼ぶ
さんたり岡大剣道部
- 4、剣の道のごごしくも
不断の鍛錬重ねつつ
高き誉れを身に負わん
我らが岡大剣道部



イエイ！



コンパにて

1、はじめに

中四国学生剣道連盟四〇周年おめでとうございませう。こうした記念すべき瞬間に遭遇できたことをたいへんうれしく思います。

さて、これから、岡山大学剣道部についていろいろ紹介させていただきます。少しでも岡大剣道部のことがわかっていただければ幸いです。

2、歴史

我が岡大剣道部は、まず昭和二八年に同好会として、そして翌年の昭和二九年に剣道部として活動を開始しました。(昭和三〇年に医学部剣道部が発足。)

そして、平成六年、剣道部創立四〇周年を迎えることができました。

多くの先輩方の意志を継ぎ、今後も岡大剣道部がさらに飛躍していけるよう、がんばりたいと思います。

3、練習

練習は月々土曜日、約一時間三〇分ほど行なっています。短い時間ながらも、集中して合理的な練習をしていこうというのが、我々の考えです。

また、剣道をする一方で、学生の本分である勉強も怠ることがないよう、互いに励まし合いながらがんばっています。

4、合宿

合宿は、春・新歓・夏の計三回行なっています。

夢を追う剣士たち やっぱ岡大でしょ!!

昭和29年剣道部発足

名誉部長	安藤 正瑛
部長	産賀 敏彦
副部長	小倉 肇
師範	杉本 八郎
	門田新一郎
主将	金本 淳一
副部長	汨田 満広
	橋本 剛志
主務	嶋滝 泰儀
OB	北野 哲也
会計	佐藤 弘
学生会	島村 暢之
四会	白壁 伸太
体育会	益崎 貴弘
大学	松本 一信
学務	松本 久代
部員数	男子34名
	女子14名
	計 48名



練習前の素振り(上)と練習中



ます。期間は約一週間。特徴としては、合宿最終日の紅白戦です。ここでは従来の試合方式にこだわることなく、自由に試合を行います。こうすることにより、剣道の新たな可能性を追求しているのです。

新たな剣道スタイルが生まれるのも近いかもしれません。

乞うご期待。

5、コンパ

主なものとしては、四年生追い出しコンパ・新歓コンパ・夏休み突入コンパ・忘年会があります。またこれに加えて、合宿・試合・学祭の打ち上げがあります。

お酒を飲みながら、部員同士の親睦が深まり、たいへんいいことだと思います。

でもみなさん、ハシヤギすぎて、お店の人に迷惑をかけるのはやめましょう。

お酒を飲むときの注意。「酒は飲んでも飲まれるな」身体には気をつけましょう。

6、最後に

岡山といえば、やはり「日本一の桃太郎でしょ」ということで、我が岡大剣道部が目指しているのも日本一、いや世界一の剣士になることです。そのために毎日がんばっています。

「流した汗は嘘をつかない」という言葉を信じて、これからも部員一同、一丸となって精進していくつもりです。今後ともよろしくお願いたします。

乗り越え、 半田山に集え！

年間行事

- 4月 岡山県下一般剣道大会
- 5月 中四国学生剣道選手権大会
西日本学生剣道大会
- 6月 岡山学生剣道選手権大会
新入生歓迎コンパ
幹部交代コンパ
- 8月 夏季合宿
中四国学生剣道優勝大会
- 12月 中四国学生剣道新人戦
忘年会
- 3月 春季合宿



合宿の合間の中休みに



西日本大会の後、帰りの電車で疲れた様子

我々は、剣道をするにあたって、単に技やスピードを磨くただけに練習しているのではなく、剣道を通じて人の道を習うことが一番の目的であり、人間形成を一番に考え、新しい時代に生きていける人間を造るよう目指しています。

では、まずわが理大剣道部の練習風景について紹介いたします。我々の練習は別に変わった練習といったものではありませんが、とにかく声を出すことに気を付けています。声を出す事によっていつでも自分自身を緊張した状態にし、又部員全体を盛り上げています。練習内容においては、基本稽古に重点を置いて、迷った時やうまくいかないと思つた時は基本にかえるように稽古しています。

又、稽古中に気付いた所などは、積極的に話し合い、お互い切磋琢磨して技術の向上に努めています。そして充実した練習を目指しているのです。どんなにキツイ稽古をやっても、終わった時にはすがすがしい気分で行られる時が、多々あります。

練習が終わると、先輩・後輩の輪を広げるという目的のため、週に一度程度の割合で近くのボーリング場へ行き、楽しくゲームをしています。また、試合の後や、休日、たまに平日の夜にみんなで打ち上げや飲み会などを行っています。その時には日頃先輩達に言えないことなど言ったりする、いわゆる無礼講で行なわれる事が多いです。こうしたことが先

理大剣士、マムシ坂を



いつもの練習風景



部旗

創部	昭和42年
師範	成光 藤
顧問	高野 安正
	西野 雅二
監督	片山 俊
コーチ	江口 慈見
	片寄 茂夫
	大饗 淳一
	中原 直美
主将	平川 博
副主将	松尾 貴典
主務	日高 秀
会計	世良 淳
部員数	男子24名 女子2名

輩と後輩の間の行きづまりなどの防止になっていると思います。

先輩・後輩の間は、やる事さえしっかりやれば比較的きびしくはないので、そういう事からも年々部員の数が増加し、多数の人が入部しても、退部する人もなく、部活動を続ける人がほとんどです。

これからも、礼儀などは礼儀でしっかりして、あとは先輩・後輩が楽しく、仲の良い環境を維持して行けるようにしたいと思います。

年に二、三回新入生歓迎コンパ・幹部交代コンパなどがあつてよく酒類を飲みます。コンパは、始めのうちは、何かたたくるしく、緊張感がただよっていますが、いったん食べたり飲んだりするととても楽しくなります。

お酒が飲めない人は、楽しくないかもしれませんが、飲めない人はなるべく飲まされないようにするようです。中には人にお酒をすすめまくって反撃をくらってダウンする人もいて、先輩・後輩のわくが取りはられ、みんなが仲間になって酔っぱらいます。

我々理科大剣道部は、やる時はやるが、練習やいろいろな行事でのしつかりやらなければならぬ事以外は、楽しく仲良くやっています。BOXでも笑い声がよく聞こえる部です。今後そのような部であり続ける事を願っています。

44年の歴史に誇り



海上保安大学校（以下海保大）が創設された昭和二六年、第一期生によって我が部はつくられ、以来今年（第四四期）まで第九期生を除く全期において剣道部のOBがおり、四四年間存続しています。

このことから分かるように、我が部は海保大においても最も活動の目立つ部の一つであります。一学年約五〇人という少数の中で今日まで部員が途切れることがなかったのは、剣道がいかに多くの人に浸透しているかを示しているのではないのでしょうか。

我が剣道部からは、全国の各本部の本部長、又は海上保安庁（本庁）における上官など多

少数でも精鋭、



新入部員歓迎を兼ねての野呂山登山

数の優秀な人材を輩出しており、現在剣道部員である我々の大きな誇りとなっています。

活動の内容は、授業のある月曜日から金曜日までの週五日、三時ごろから授業の終了する五時ごろまで授業の一環、補課活動として行ない、土、日は大会前など例外を除いて基本的には行ないません。練習は、とにかく基本に重点を置き、基本打ちを中心に行ないます。

新入部員の歓迎を兼ねての登山（野呂山・約八〇〇メートル・呉市郊外）と、年約四回行なう部会が年間行事らしい行事であり、学校の規則、または全国各地から来ている部員個人個人の都合により、残念ながら朝練、合宿などではできない状態です。

ところで、海保大では年に数回にわたって、現場に出ている人が研修生として来校することがありますが、その研修生の中にある剣道部のOBの方との稽古が我々学生がOBと接する数少ない機会の一つです。卒業すると全国各地に配属になり、散り散りになる我が校ではOB会などの組織はありません。ゆえに、部が創設されて以来の伝統やモットーなどありません。しかし、各時代の部員により受け継がれたり、改革されてきたものだろうと思います。

以上、ありふれた部紹介ではありますが、今後も活動にはげみ、ここに海保大あり、と他にアピールできるよう努力していきます。



部誌「剣心」第13号

中四国の 一角を担う



2月卒業生追い出しで、
1年生の寒中水泳



全日本でOBとともに



大会間近、植田師範より励ましのお言葉をいただく

我々香川大学剣道部は、三回生の幹部を軸に、植田師範をはじめとして地域の先生方やOB等多くの方々の御指導の下に、部員一丸となって日々稽古にはげんでおります。植田師範におかれましては、御多忙中、道場へ頻繁に足を運んでいただき、部員一同、貴重な体験や剣道に対する心がまえ等を拝聴することができ感謝の極みであります。毎週稽古をつけていただく県立武道館や県警機動隊では、試合の講評もしてくださるなど、格別の御高配をいただいております。OBの方々には、合宿はもちろんのこと普段の稽古

にまで参加をいただいております。また、全日本大会出場の際には香川大学剣道部OB会である剣心会の方々にも各地でお世話いただき、OB・学生ともにそのつながりの強さをあらためて再確認させられます。

このような、多くの方々の御指導の下、「心をひき締める鎧の如く剣道具を身にまとい、真剣の如き竹刀を持って正しい剣道を修め磨く」という植田師範の教えを胸にきざみ、中四国の一角を担う存在として、日々稽古にはげみたいと思っております。

香川大学剣道部一年間の流れ

四月・新入生歓迎合宿——新入部員を手荒く大歓迎。この合宿で一年生はひと皮むけていく。

五月・中四国選手権大会——ひとりでも多く全国大会へ送りこもうと、部員全員が一丸となる。

六月・香川近県学生剣道定期大会——我々、香川大学剣道部が主催する大会で、今年で一〇回目。四国・岡山から多くの大学に参加してもらっている。試合後の懇親会では、各大学の一芸披露が最大の目玉となっている。

七月・全日本選手権大会——先輩方が残した栄光の記録を目ざし、また新しく記録を残そうと、力いっぱい戦う。

四国インカレ——香川大学の総合優勝に貢献すべく、男女共に入賞をねらう。

至大至剛の旗のもと



部旗「至大至剛」植田一師範書



OBとともに新年稽古会

創部	大正13年
師範	植田 一郎
顧問	西山 修一
部長	松田 山神
監督	安永 昌司
監事	政本 尚
主幹	合田 恭子
	前田 智美
主務	村尾 真代
	藤本 和美
会計	国方 美幸

八月・夏期合宿——地域の先生方やOB等の御参加をいただき、全日本優勝大会出場目ざしての、自分の体力・精神力の全てをかけて乗り切る。死に物ぐるいの合宿。

中四国優勝大会——我々の一年間がこの大会のためにあると言っても過言ではない。全日本優勝大会出場めざし、選手・応援者が一つになる。

九月・香川大学前期試験——学生の本分は勉強。剣道で鍛えた体と心でノート集めに奔走する。

一〇月・全日本優勝大会——今までの剣道部での生活の成果がここに発揮される。

一二月・新人戦——翌年の戦力を占う大切な大会。レギュラーメンバー目指してガンバレ！

一月・新年会——師範・OBが集まり、我々学生にとつては、香川大学剣道部の歴史と和を感じさせられる、新年にふさわしい暖かみのある会。

二月・卒業生追い出し——稽古では、在学生の抑圧されてきたパワーが大爆発。夜は酒を酌み交わしながら名残を惜しむ。

三月・新二年生合宿——一年生が真の剣道部員となる最後の難関。この合宿を乗り切ると、はじめて道場の壁に師範手書きの名札がかけられる。

残る



全力疾走しよう



びきたて
ホヤホヤです!

我が大学の創立は平成三年です。今年でようやく四年生までそろった非常に新しい大学です。

大学創立当時、「部活」というものではなく全て「サークル」あるいは「同好会」の形から始まりました。もちろん我が剣道部もその中の一つです。同好会から部への昇格、部費の獲得（必死！）、顧問の先生を探す……など様々な苦勞を現在四年生である先輩方が経て、今の部があるのです。そしてそのおかげで現在男子一〇名、女子一七名（マネージャー含む）の立派な部に成長しました。しかし、当然の事ながらOB組織はまだありません。

●練習法は皆で研究して

さて、部の活動の方ですが、我が部では、月・水・金の週三日、二時間程度の練習を行なっています。というのも、剣道・空手の二つの部で『武道場』を使用しているからです。だから、短時間でいかに効率のよい練習をするかをテーマに練習法を考えています。練習のやり方もベースがないので、とりあえず、部員の各出身校や道場の練習法をミーティングで紹介し、良さそうなものを全員でやってみて、練習に取り入れています。そして先生方も時間の許す限り私達を熱心に指導してください。

●二人の先生

それではここで、二人の先生方の事を紹介

させていただきます。まず部長の鷹野先生。七三歳！とは思えない剣さばき。私達をいとも簡単に吹っ飛ばしてくださいます。しかし、普段はやさしく、愛妻家で、らっかせい（千葉産）大好き♡な先生であります。

そして顧問の森光正志先生。名前の通り、正しい志を持って私達を熱心に指導にあたってくださいます。とにかく熱いのでリアクションに力が入る！（リアクション大魔王）しかし、これまたいつもやさしく、おちゃめで親しみやすい先生であります。



コテは
“パクッ”
と打て～!

●剣道部の母

また、私達を支えてくださるのは先生方だけではありません。『剣道部の母』と言われている体育館の管理人のおばちゃん。練習の

私達の後ろに歴史が



恐れ多い我が部の創設者たち！

創設年 平成3年
 部長 鷹野 健次
 顧問 森光 正志
 部員数 男子10名
 女子17名
 (マネージャー含む)

H5.6年度 剣道部活動カレンダー



H5	H6
9月	4月 新入生歓迎コンパ
10月 学祭	5月 中四国大会 (in 松山)
11月 うち上げ	残念会&次はがんばろー会
12月 新人戦	6月 岡山県学生剣道大会
1月 鍋パーティー	7月 残念会&今度こそは
2月 スキー…?	がんばろー会
3月	8月 きびしい夏の練習
	9月 中四国大会 (in 広島)

2日に雨が降って大変だった

先輩の意外な面をしてみました

選手 女子2人
 男子30人...
 マネージャーは私も入ってきた!

今年ちゃんBest8 おめでとう!

練習後のひととき



そろそろ
 勝とうぜ!!

●さー、これからです！
 さて、いろいろ書いてきましたが、ここには書けないものがあります。それは『戦績』です。各大会が終わったの打ち上げは『ごくろう様』ではなく、いつも『残念会&次はがんばろー会』になってしまいます。しかし、試合でしか自分達の本当の力が見えません。だから、みんな一丸となって日々練習し、今は何もない道場の壁に少しずつ賞状を増やせていけたら……と考えています。



剣道部の母

あい間にお茶、おもち、コーヒーetc. (ヨードルトきのこもあった!) を差し入れてくれ、いつも私達を応援してくれています。おばちゃんいつもThanks♡



する吉備剣士の 行く手に日は昇る



合宿の合間の息ぬき

吉備国際大学剣道部の
チームワークの良さの秘密は
このカラオケ大会にあるのかも
しれない…(未確認)



6月のカラオケ大会
チャンピオン

5月のカラオケ大会
チャンピオン

通称
順正の歌姫

私達、吉備国際大学は平成二年に開設し、今年で創立五年目を迎えた、まだ生まれて間もない歴史も伝統も浅い大学です。今年の三月に我が吉備国際大学初めての卒業生をおくり出しました。

まだ開学間もないため練習する道場がなく、体育館で他のクラブと場所を分けて使用したり、近くの警察署の道場を借りるなどして週に五日、併設されている順正短期大学の剣道部と合同で練習に励んでいます。

● 武道としての剣道をめざす

主な練習内容としては、試合がない場合は基本打ちに重点をおき、試合が近い場合は実戦に使える応じ技や、地稽古に重点をおいて練習しています。ただ単に時間をかけて練習するのではなく、いかに短い時間でどれだけ効率よく集中して中身の濃い練習をするか、ということに重点をおいています。この大学では個人個人の体力をつけるために約束稽古という独自の練習方法を取り入れています。これらの稽古によって、試合のための剣道ではなく武道としての剣道を目指し、長く剣道を続けていけるようがんばっています。

戦績は、平成四年に中四国剣道大会でベストエイト(団体)に入り、平成六年には、全日本学生剣道大会に出場(個人)しました。また、岡山県の大会では三位に毎年入賞しています。これからは、先輩の方々が残された

無限の可能性に挑戦

創部 平成2年
部長 三宅 俊治
監督 岡本 直也
主将 中本 武
主務 高垣 慎一
部員数 男女合わせて14名



吉備国際大学剣道部一同



上・下とも稽古は体育館を他クラブと共用

成績を上回るようにがんばっていきたいと思います。

●レクも稽古もせいっぱい

年間行事としては、五月に新入生歓迎コンパを行ない、在学生と新入生との親睦を深めました。そして、八月に鳥取で順正短期大学と合同で合宿を行いました。今年は例年になく猛暑で、体力的にも、精神的にも厳しい内容でしたが、とても充実した合宿となりました。

我が大学のレクリエーションは、月に一回行なわれるカラオケ大会で、順正短期大学と合同で行なっています。私達は、剣道も遊びも一生懸命することによって同時に勉強も頑張れるのです。

また、試合の次の日には、試合のVTRを全員で見つて、お互いの欠点を指摘して、試合の反省をします。そして、次の日から反省を生かし、練習に励んでいます。

●あたたかなクラブの伝統をうけついで

私達、吉備国際大学剣道部は、大学創立と同時に創部され、まだ歴史が浅く、伝統がありません。とはいえ、はじめのついで、あたたかなクラブです。私達は、これからの、良き先輩たちの志をうけついで、新たな歴史を築いていこうと思います。

胸に



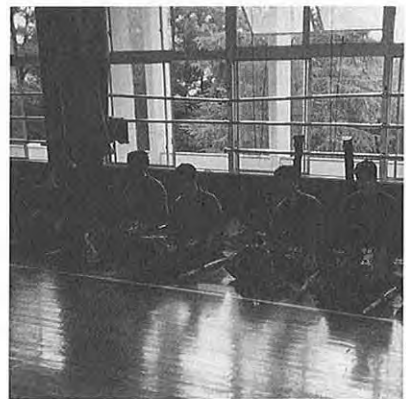
翔け！ 近大工



ある日の稽古風景



紅一点！



― 伝統の合宿 ―

八月末にある中四国学生剣道優勝大会に向けて、一週間前から合宿を行なっています。合宿といっても大学内にある道場に泊まり込むわけですが、そこで普段得られない体験をし、団結力を高めます。又事実上、この大会で三年生は引退となりますので、下級生の育成にも努める場でもあります。他にも練習の合間に海に行くなどして、厳しい中でも楽しい合宿です。

― 一人だけの女性部員 ―

近畿大学には、工学部ということもあり、女学生は、全体の一〇%にも満たないのです。そんな中、去年、剣道部に女性部員が入部してきました。ただ一人ということ、そう長くは続かないだろうと誰もが思っている中、彼女の性格が良かったのか、今もなお男子に混ざって練習にはげんでいます。今はまだ、その成果が発揮されていませんが、きっとこの先、良い成績を残してくれることでしょう。

気魄を胸に自主性を



近大工剣道部一同



部旗「気魄」

部長 鷹和 靖浩
部員数 男子21名
女子1名
計22名

― 障害を乗り越えた練習 ―

近畿大学工学部は、校舎が東広島と呉という三〇キロも離れた場所に位置するため、時間割の都合上、毎日練習するというわけにはいきません。よって週三回、それも一時間半という短い時間の中で集中して練習を行っています。短ければ、短いなりに、個人が目標をもって効果的に練習を行なっています。

― 次に望む ―

残念ながら我が校は試合での成績はあまりかんばしくありません。参加することを目的にしてきたわけです。あまり良いとはいえない伝統が根づいているかもしれませんが、これからも新入生が入部してくると思います。その後輩達は先輩達の良い面を見習い、悪い面は後に残さない様に年ごとに成長していく部になっていくことを望みます。

― OBに感謝 ―

近畿大学工学部剣道部には、まず監督たる人が存在しません。故に全てにおいて、学生中心の活動になります。

しかし、これにも限界があり、それを補ってくれるのがOBの方々です。試合前はもちろん普段の練習にも顔を出してくださり、また合宿においては、わざわざ遠方より来てくださって、御指導はもちろん、資金の援助をしてもらっています。そんなOBの方々に感謝するとともに、我々もそのようなOBにならなければと痛感します。



集いし剣士 龍馬たち!



部旗「常歩」



愛媛県大三島の夏合宿の1コマ



有志をつのって徹夜稽古

高知大学剣道部は、昭和二十七年一月二日に発足しました。そして、現在各先生方の中心となって、私達の指導にあたっておられる大塚忠義先生が我が剣道部にいらっしやうてから、今年で二〇年になります。

●高知大剣道部の気風

どこにも剣風というものはあるわけですが、高知大の剣風は「ない」というのが一番正確です。各人それぞれに自分の好む剣道をやっており、受け方も攻め方も全くバラバラです。またメンバーも県大会優勝の剣歴を持つのがいるかと思えば、「大学から始めました」というのがごろごろいる、といった、何の脈絡もなく集まった面々で構成されています。闇鍋のごとく様々な剣風や剣歴を持つ人々を抱え込める懐の深さと自由さ——これぞ高

知大剣道部の気風といえます。

●部の運営と稽古

部の運営は全て部員の自治によってなされています。練習計画班、コンパレク班、掃除計画班の三つの班に部員が各々に分かれて活動します。したがって稽古内容も、幹部を中心に、練習計画班が部員の意見を聞き、それを参考にして稽古内容を決定する、という方針をとっています。

中四国学生剣道連盟四〇周年にあたる今年の幹部は、「試合に勝つよりも、自分で納得できる練習を」という方針のもと、部員それぞれの個性を尊重した練習を考えました。

ちなみに、新幹部は、「目指せ全日、輝け友情」を目標に掲げ、週に三回のランニングと筋力トレーニングをとり入れ、活動を開始しました。

●国際交流

剣が結んだ縁で、昨年は三人、今年は二人、イタリアから長身の剣士が来高し、ともに稽古し、またともに飲み、交流を深めました。

国や人種は違いますが、同じ剣道仲間としてつき合うことができる、双方にとってプラスになる年中行事になりそうです。

●OB会と「土佐への懸橋」

全国各地で働くOB（中には夫婦で）が年に一度集い、現役部員と交流します。様々な年齢層のOBと剣を交え、稽古のあとは、と

盃と自由のもとに 想え

部誌「飛雲」
1994年号



（巻頭の言葉）
雲は大空に浮かび
風の流れ
その身をいかなる形にも変えて
果てしなき空間を高く低く走る。
満ち足れば雨滴となり
大地を潤し
青空閑なれば
再び雲の身に戻り
無限を駆けめぐる
そこには生命の自由と偉大がある。
そういった雲にここがれて
「飛雲」とす



ある日の練習の後で

創部	昭和27年11月21日
部員数	男子24名 女子17名
部長	大塚 忠義
顧問	腰山 静雄
師範	門田 豊 依岡 藤喜 横山 大道
主将	男子 向井 康之 女子 金子 真弓



イタリア人との交流・白滝の合宿で

もに飲み、いろいろな話でもりあがります。
またOB会の案内状に添えて送る「土佐への懸橋」は、年間の試合や行事を担当の部員が編集して、OBに報告する新聞です。
OB会は、二〇数回を数える年間行事の一つです。

●年間誌「飛雲」

年に一度、部員が考えていることを自由に書き綴った部誌「飛雲」を発行します。この部誌は、意外に部員達のコミュニケーションの大きな役割を担っています。

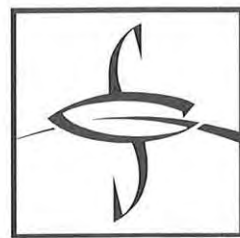
内容はというと、剣道のこと、友達のこと、家族のこと、自分の生活や趣味のこと、中高生の頃のこと、笑い話、恋の話、作り話など様々です。

この部誌の面白さは、剣道や剣道部に対する自由な感じ方や考え方が許されている剣道部だからでてるのだと思います。

●高知大学剣道部とお酒

「土佐の高知は酒処」と言われますが、我が高知大学剣道部もいよいよ酒好きの集団です。飲み会の回数も多く、お酒の量も体育会系サークルでも一、二を争うほど。練習の後、突然飲み会になることも多く、稽古の後の一杯のビールのために練習に来る人、飲み会で見られない人もいます。

「酒に強くなれば剣道も強くなる」というわけのわからないことばも伝わる、これが我々が剣道部の伝統です。

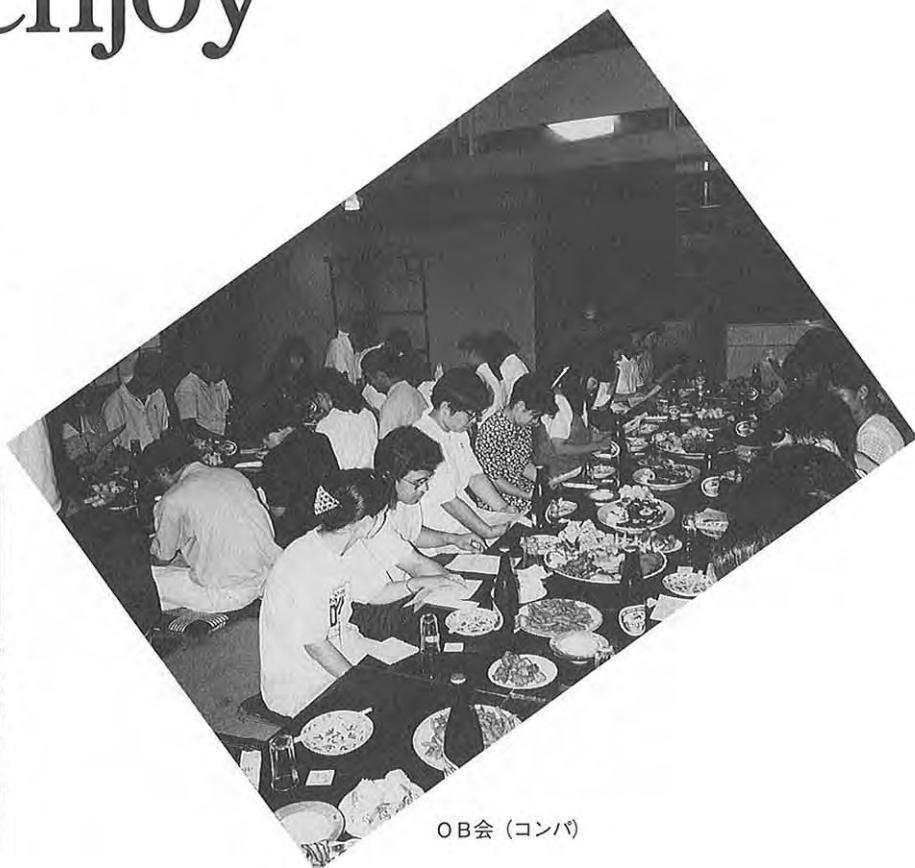


大学生生活を

Let's enjoy

年間行事予定

1月 新年会	6月 新歓合宿
道場開き	8月 夏合宿・OB会
2月 卒業試合	中四国大会
3月 卒業旅行	11月 学祭
4月 植田杯	12月 役員改選
5月 強化合宿	道場おさめ
5月 中四国大会	



OB会 (コンパ)



中四国大会風景

我が四国学院大学剣道部は、昭和四九年に同好会として発足して、昭和五九年に剣道部として成立し、現在に至っています。

練習は基本的に月曜から土曜まで、約一時間半しています。道場は少林寺拳法部と空手道部と同じ時間に共有しているので、非常に狭く不便ですが、いろいろと考えて効率よく練習しています。合宿は、毎年、にぎやかにやっています。夏の中四国大会直前にやるので、割とハードです。

●部の伝統。串カツ販売・コンパ・三〇分前集合

次に部の伝統を紹介しますと、学園祭では毎年、串カツを販売しています。この串カツは大変好評でたくさん売りが上がります。その売り上げのお金は打ち上げのコンパ代にして、余ったお金を部費の足しにしています。

私たちのコンパではいつも多くの人がつづられます。五月にある新歓コンパに始まり、八月にはOBコンパ、一〇月の三回生お疲れ様コンパ、十一月の学園祭の打ち上げコンパ、一二月の役員改選コンパ、一月の新年会、二月の四回生追出しコンパに終わり、一年通して見て休む間もないぐらいお酒を飲んでいきます。コンパは楽しいのですが、一気飲みはやめたほうがいいと思います。

私たちの部では、三〇分前集合が伝統として受け継がれています。これは集合時間三〇分前に集まることです。三〇分前に余裕を持

さわやかな汗で

昭和49年 剣道同好会として発足
昭和59年 剣道部として成立
顧問 漆原 光徳
主将 宇田 文洋
部員数 男子17名
女子9名



練習風景

全員集合写真

って集合することによって、なにか忘れ物があつたりしたというときなどに対処できるという意味です。OB会は、OB戦とOB総会（コンパ）があります。

●OBとのつながりは、機関誌「がんばれ剣道」で
機関誌活動として、OBと現役部員とのつながりを持つために「がんばれ剣道」という機関誌を年に一度発行しています。内容は顧問の先生の原稿、OB会会長の原稿、多くのOBの方の近況報告等に始まり、試合の結果報告、部員の一人一言を載せています。この機関誌を発行する時にいちばん困ることは毎年OBの方がふえてきて印刷する部数も増え、しかもレイアウトなどもすべて印刷屋でやってもらっていたので膨大な費用がかかることです。しかし、最近では集めた原稿をワープロで打ち込み、私たちがレイアウトしたものを印刷屋に持っていくようになり、大分費用が浮くようになりました。

顧問の漆原光徳先生は昭和六三年から剣道部の面倒をみていただいておりますが、とてもおもしろい先生で、いざというときにはとても頼りになる先生です。そのために顧問の漆原光徳先生は部員全員から慕われています。

このような部ですが、今後ともよろしくお願いたします。



ごとく...

友と心の手をつなぎ

部長 會田 実
監督 坂下 彦之
主将 横山 尚弘
副将 高谷 光一
部員数 男子8名 女子8名
計16名

一に練習
二に練習
三、四はなくて
五に練習!!



稽古場の一瞬



我が四国大学剣道部は、平成四年度に男女共学になった。少人数だが男子部員が加わることにより、日々の練習に、今までにない新たな活気が生まれている。

我々は、「勝つための剣道」はもちろんではあるが、生涯続けていくことのできる「生涯剣道」を目指し、また、我が四国大学剣道部の新しい伝統を築くため、男女部員一丸となって練習に励んでいる。

我が部は、毎週木・金・土と練習している。木・金曜日は午後四時三〇分から約二時間程度、土曜日は午前一〇時三〇分から約二時間程度である。しっかりとした基本を身につけ、長く続けられる剣道を目指している。基本稽古に重点を置いているが、その練習内容としては、何も特別変わったことはしていない。その後、地稽古に入る。あまり長い時間だからとならないようにしている。最後にかかり稽古、打ちこみ稽古となるが、打ちこみ稽古はゆっくり大きく打ちこむように心がけている。

我が部のこれまでの戦績であるが、我が大学は平成四年度から男女共学となり「四国女子大学」から「四国大学」となったが、まだ「四国大学」としての目立った戦績はない。しかし「四国女子大学」であった時の戦績として、第一〇回、第一一回中四国女子学生剣道優勝大会において三位入賞を果たしている。

熱い血潮はうずしおの 今、翔びたとう



さあ、翔びたつぞー同で

我が部の年間行事について紹介する。四月には入学式があるが、新入生の勧誘ぐらいなものではない。五月には新入生歓迎会を行なう。そこで、新入生には思う存分お酒を味わってもらうことにしている。八月には約一週間程度の合宿を行なう。合宿中は練習時間も長くなり、普段の練習の中では気付かない点にも目が行き届くので、技術面や、チームワーク、その他あらゆる面について見直すことができるいい機会である。九月には幹部交代会を開いて、旧幹部から新幹部へ引継を行なう。一月には大学祭において「たこ焼」を売って部費の足しにする。一二月の中旬過ぎに忘年会を行なう。その時には卒業された先輩方にも来ていただき、その一年間の経過などを聞いていただき、来年に向けての御指導をしていただくことにしている。二月には送別会を行なうが、記念品の贈呈など、ごく普通のものである。そして三月の春休み中に合宿を行なっている。以上が我が部の一年間の主な行事である。

前にも述べたように我が大学は女子大学から男女共学となつてまだ新しく、男子部が創設されてまだまだ若い部である。男子が加わり、道場の雰囲気も女子大学時代よりかなり活気に満ちたものになったので、女子大学時代の先輩方が築き上げた伝統を引き継ぎつつ、「四国大学」としての新しい伝統を築き上げるため、今後とも稽古に励みたい。



部旗「志」

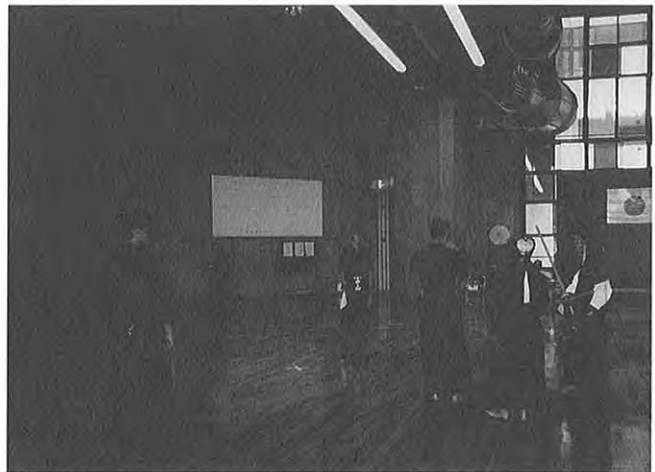
島根大学剣道部部歌

作詞 岡田三郎先生

- 一、 剣の技に魅せられて
歩み来れるこの道の
川津に集う人の和は
肩組む腕の力なる
- 二、 海の彼方の遠山を
望むひとみの澄みおりて
静かに立てば向かいおる
影を宿すや水鏡
- 三、 巖もくたく激波や
石をもとかす山の熱
瞬時の激闘青年の
若き命のほこりなれ



我々は春と夏に合同合宿をおこなっている。恵まれたことに大阪教育大学など、毎年多くの大学に参加していただくことができ十二分な稽古をつむことができている



これは松江市立武道館である。ここでは島根県内の大会だけではなく、五大学剣道大会会場などにも使用されている。もちろん週2回の稽古や、その他審判講習会、段別選手権なども行なわれている

我々島根大学剣道部は福田明正師範、境英俊部長のもと、男子一五名、女子九名、計二

四名と少人数で構成されています。また、初代卒業生は昭和三三年ということからも分かるように古くからの伝統があります。そしてその伝統を現在まで引き継いでいるということが我々の自信につながっているのです。

練習は境先生の御指導のもと、基礎を重視した稽古に励んでいます。早朝稽古と夕方稽古の一日二回で、週六日あり、朝は主に基本練習やトレーニングで、夕方には地稽古や掛かり稽古など、実践に役立つ稽古内容になっています。

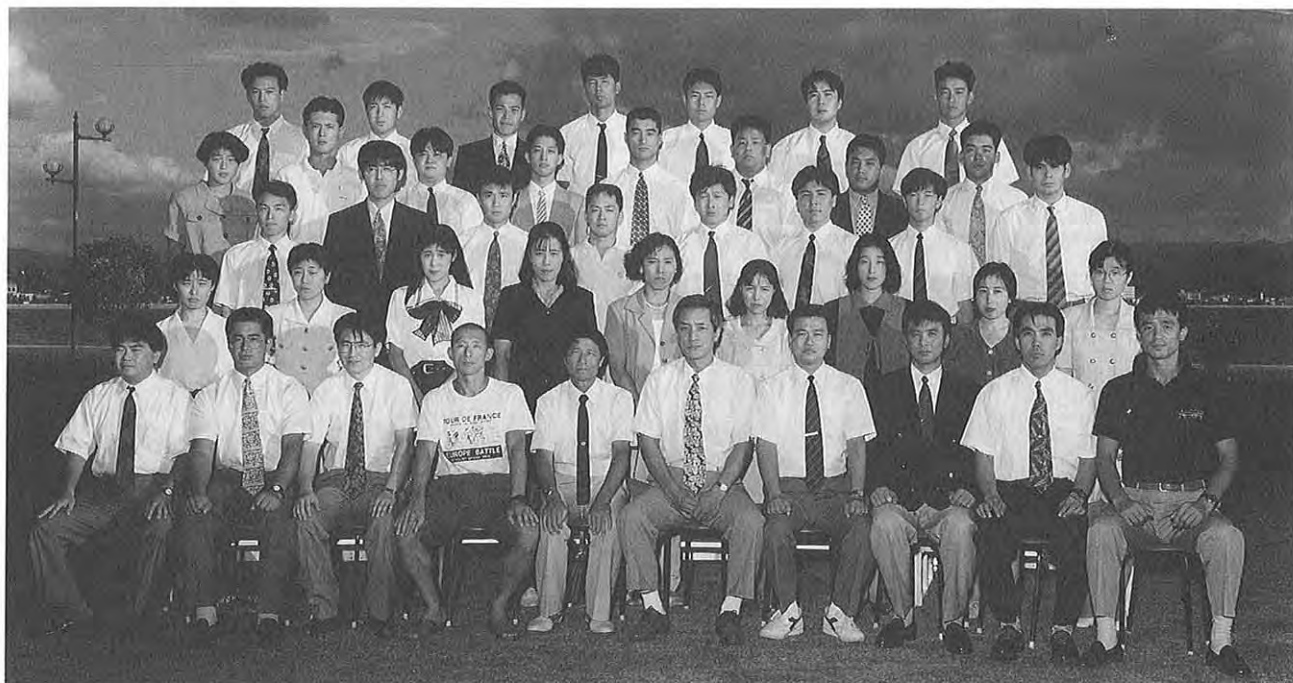
● 春・夏の合宿

我々の一年間というものを振り返ってみると、春・夏の合宿が重要なものとなっています。春には新入部員と共に合宿を行ない、この機会に一回生との交流をはかるとともに、試合に向けて個人個人のレベルアップに努めています。

夏には大阪教育大学の方々と合同合宿を、毎年行なっています。この合宿は、大阪教育大学と我々島根大学が交代で計画しており、場所も毎年変わります。そのおかげで、大阪教育大学の太田先生をはじめ、各県の多くの先生方に稽古をつけていただくことができ、また他大学の方々にも参加していただい

基本を礎にした 剣道を追求する

初代卒業生 昭和33年
師 範 福田 明正
部長・監督 境 英俊
主 将 川崎 栄二
主 務 中山 雅敦
部 員 数 24名 (現在)



島根大学剣友会。我が部は2年に1度OB会をおこなっている。歴史の古い剣道部なので毎回多くの先輩方に参加していただくことができ、稽古をつけていただいている

て様々な剣風に接することができます。島根大学は、周辺に大学が少なく、年一回の鳥取大学との交流試合を行なってはいるものの、他大学との練習試合は、合宿を除くと全くといっていいほどありません。試合慣れしていない我々には、春・夏の合宿は本当に欠かすことのできないものであり、貴重な体験になっています。また、二年に一度のOB会には、多くの卒業生の方々が我々のために時間を割いて来られますし、島根県内の段別選手権等では、県内の各地域の方々や県警の方々と剣を交えることができます。

●冬の寒稽古

さらに、合宿と同じくらいに重要な行事である冬の寒稽古を、新年を迎えてから行なっています。

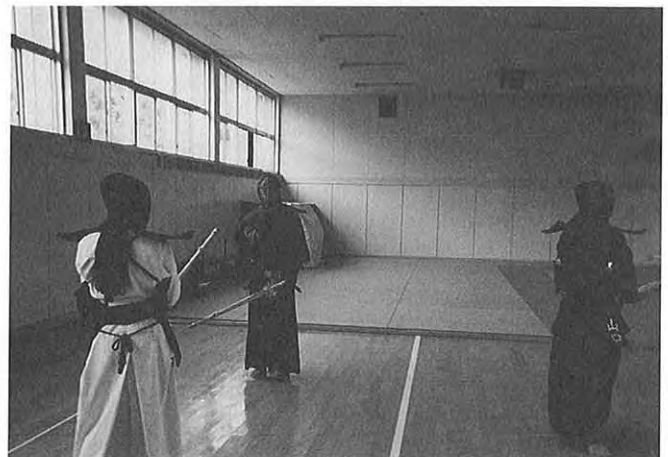
山陰地方にある松江市は、日本海側であるせいもあって、冬は厳しいです。東北地方に比べるとそれほどではありませんが、雪の降る中、早朝からの稽古はつらいものがあります。しかし、その寒さに耐えてこそ、一年間の稽古の幕開けにふさわしいものになるといえます。

また、伝統も古く、これまでに先輩方が数々の好成績を取っておられます。我々はその伝統を引き継いで、部員一丸となって稽古に励み、部訓である「志」のもと、修練していきたいと思っています。

勝負は一瞬



学園祭では皆思い切り楽しめますが、1年生はイケニエの美人に……。



今まで目立った戦歴はありませんが、何とか全日本出場の夢を果たしたい！ と一同がんばっています

我々下関市立大学剣道部は、少人数でありながら、チームワークもよく、過去にこれといった大きな成績もありませんが、日々稽古に励んでいます。

今年は、新入部員一名という恐るべき事態



練習は週5回。試合での好成績と心身の向上が目標

謙虚になれ。しかし、

創部 昭和37年
部長 太田周二郎
師範 富ヶ原富義
監督 西森 孝司
コーチ 伊豆丸次秀
主将 片岡 誠治
副主将 徳谷 猛
主務 山口 耕司
統制 高田 俊宏
部員数 男子12名
女子 2名



1994年卒業式の日。別れの時に、在校生のこのうれしそうな顔は……。



前後期の打ち上げ。幹部交替式など年数会のコンパを行ない、OBと在校生の交流を深めています

が発生しました。更に女子部員、マネージャーも全く入部せず、男子部員全員日どり状態が続いています。こう書いている私でさえ、どこか違う部を兼任してこの状態を解消したい所ですが、なかなか思うようにはまいません。

と談元は……冗談はこれ位にしておき、そろそろ我が部の紹介をさせていただきます。

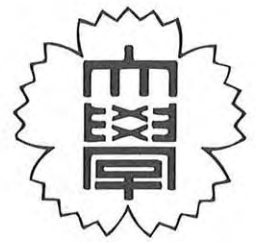
先ほども述べさせていただいたとおり、我々は強い部ではありません。しかし我々が目標にしているのは、別に強さばかりでなく武道の基本である礼儀をよく理解し、どれ位長く剣道と共に人生をあゆんでいくか、ということでもあります。

剣道は、あらゆる競技の中で、現役生活の中で苦勞が多く、又、一番長くできる競技であると確信いたしております。

その中で、いかに剣道を長く続け、そして立派な人間になり、社会に貢献していくかということを我々はテーマにしてがんばっていかうと思っております。

下関は、歴史的にも偉大な剣士が多く出ております。その郷里にいる我々は、その名に恥じないようがんばらなくてはなりません。そのためには、中四国の各大学の方からの多くの手助けをいただかなくてはならないと思っております。

今年も超少人数であります。皆々様の御指導御鞭撻の程、よろしくお願いいたします。



美しい 剣道をめざす—



試合稽古の組み合わせを決める



夏の合宿、夜はトランプで盛りあがる

● 歴史

就実剣道部は昭和六二年に同好会から部に昇格しました。それ以来、少人数ではありますが、一生懸命稽古に励んでいます。歴史が浅く、優秀な戦績ありませんが、自分たちで歴史をつくっていくことの楽しさを感じています。

● 剣友雅美

我が部は当初からこの言葉をモットーとしています。「女の子は剣を友だちにして綺麗な剣道をしなさい」という意味です。これは師範の宇高先生が日頃から言われていることで、私たちもこの言葉を誇りに思っています。面タオルには宇高先生にこの文字を書いています。いただきました。

いつも正しい姿勢で自分の技を磨きあげていこう、体育会系からは程遠いですが、剣友雅美という言葉は女子大学ならではかもしれません。

● 合宿

就実学園は学外施設に恵まれており、我が部は毎年夏休みに合宿を行なっています。合

剣友雅美一剣を友とし

創部 昭和62年
部長 望月 隆仁
師範 宇高善太郎
監督 宇高善太郎
主将 安達 香理
主務 太田 幸子
副主将 高島美恵子
OG担当 田村 順子
会計 高島美恵子
幹事 安達 香理
部員数 12名



OGとともに宇高先生を囲んだ新年会

宿では稽古と共に炊事、洗濯、掃除を（もちろん遊びも）、先輩後輩みんなで楽しくやり、チームワークを深めることを目的としています。いつもより長い時間稽古をしたり、全員で寝坊したり、夜はトランプで盛り上がりつつありして、今まで隠されていた皆の性格を知りやすい機会となり、その年のハプニングは後々まで語り草となります。

●宇高先生

我が部は宇高善太郎先生に好意で指導にきていただいています。宇高先生は試合での勝敗よりも真つすぐな姿勢や技を大切にしながらとおっしゃいます。それは我が部のモットーの剣友雅美に通じるものがあり、稽古も基本打ちや技の練習に力を入れています。宇高先生は風が吹く日も雨が降る日も自転車をこいでやって来られるくらい熱心で、面をつけるとその熱心さは更に増し、私たちは先生から一本とろうといつも四苦八苦しています。

●六三四の剣

部員は皆、『六三四の剣』を愛読しています。『六三四の剣』を読む度、新たなやる気が湧いてきます。今日はあのコ、妙に張り切ってるなあ、と思ったら実は前の晩に『六三四の剣』を読んでいた、なんてこともあるかも。いつかみんな六三四が見て育った盛岡の岩手山を見にいきたい、けれどこれはまだ計画中です。



吉備国際大学剣道部と一緒に稽古する

創部	昭和42年
部長	薄井 正孝
監督	岡本 直也
主将	櫻井 信子
副主将	佐々木 妙子
主務	西山 房衣
計	池内 裕美



吉備国際大学と合同でカラオケ大会

●部を再建

私達、順正短期大学剣道部は、昭和四二年の学校設立と共に創部され、活動を続けてきました。

順正短期大学は順正高等看護専門学校と剣道部の活動を共にしています。しかし、私達が入学してきた時には、順正短期大学剣道部の活動は休止していました。そこで一名の部員が集まり、順正短期大学剣道部を、自分の力で再開することにしました。

●県大会で個人優勝

現在、順正短期大学剣道部としての活動は、吉備国際大学剣道部と合同で月曜日から金曜日、約二時間行なっています。

一時期、活動の中断もありましたが、これまでの戦績が目立つものとしては、昭和五七年、中四国学生新人大会の個人戦で準優勝という、優秀な成績を修められた先輩がおられました。新たな戦績としては、平成六年、県大会の個人戦で、優勝・ベスト八の成績を修めることができました。さらに、中四国学生女子優勝大会でベスト八という成績も修めることができました。

●男性部員と同じ練習

練習内容としては、試合がない場合は基本打ちに重点をおき、試合に近い場合は実戦に使える応じ技や、地稽古に重点をおいて練習しています。ただ単に時間をかけて練習する

すなお 順の心夢見し女剣士 夢多し岡山の鬼ユリ達



岡本直也監督を囲んで



練習風景

のではなく、いかに短い時間でどれだけ効率よく集中して中身の濃い練習をするか、ということが重点をおいています。私達、順正短期大学剣道部員は全員女性ですが、吉備国際大学剣道部の大半を占めている男性部員と共に、同じ練習内容をこなしています。

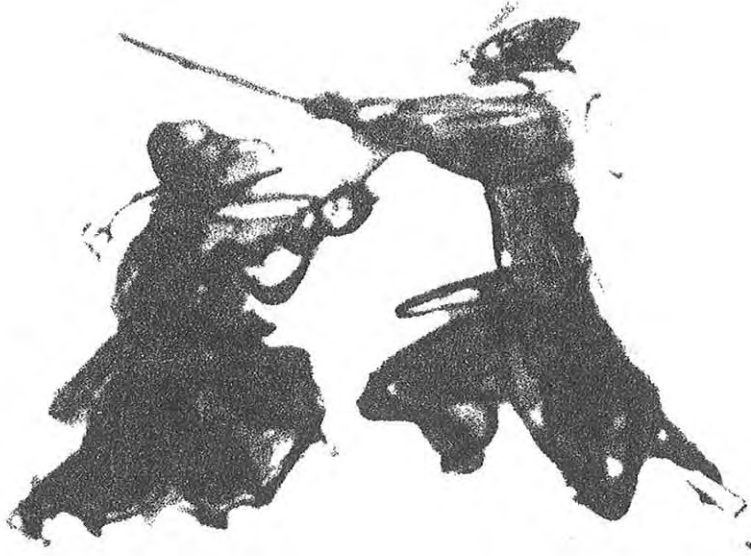
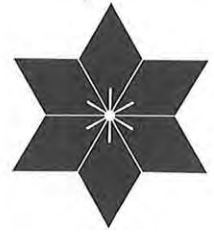
年間行事の一つとして、合宿を毎年行いません。合宿は毎年鳥取で行なっています。今年の合宿は吉備国際大学剣道部と合同で、練習内容は、基本中心で体力向上や個々の精神力を高めることに重点をおいた厳しいものでした。

●コンパとレク

もう一つの行事として、交流を深め、チームワークの充実をはかるために、レクとして月一回カラオケ大会を行なっています。それと、五月には新歓コンパも行ない、順正短期大学と吉備国際大学の部員達、また吉備国際大学OBの方もこられて親睦を深めました。その他、試合の打ち上げ、忘年会、新年会、卒業生の追出しコンパなどもあります。

年間を通して吉備国際大学と触れ合う中で、二年間を剣道・生活共に充実させ、思い出を作り、大学生活を楽しんでいきたいと思っています。

そして順正短期大学剣道部の歴史をこれから先、創り上げていきたいと思っています。



我ら水産大学校剣道部は、四年生二人、三年生六人、二年生六人、一年生四人の計一八人で、一日二時間程度の練習を行なっています。初心者の方もいますが、基本練習を大切に、先輩、後輩隔てなく教え合い、技の上達を競い合っています。

公式試合においては、その都度、反省会を開き、互いに気付いたところを指摘し合い、翌日からの練習で問題点を改善して、次の試合で多く勝てるよう心掛けています。又、他大学との交流も多く、練習試合を行なったり、文化的な活動も活発に行なっています。

水産大学校の学園祭の折には、部員一丸となって焼き肉屋を出し、剣道部の団結の固さを改めて実感させられました。

●よき先輩・OB・先生方に囲まれて

先輩方は皆良い方ばかりで、剣道だけでなく、大学の勉強を教えてもらったり、また人生の先輩としても、様々なアドバイスをいただいています。

部全体の雰囲気としては、三、二年生の先輩方が全体を引っ張ってくださる中で我々一年生は、練習、その他の活動に縮まりが出るよう、水産大剣道部である自覚をもち、盛り上げて一生懸命ついていっています。それに、四年生や専攻科、OBの先輩方からも、私達のためになる助言等をいただき、より一層の

精進に努めています。

学校の顧問の先生の他に、武道場からも先生が教えに来てくださいます。特に地稽古の時には、打突のタイミング、打突のつきた所での残心など、的確な御指導を受け、部員一同感謝の念で一杯です。

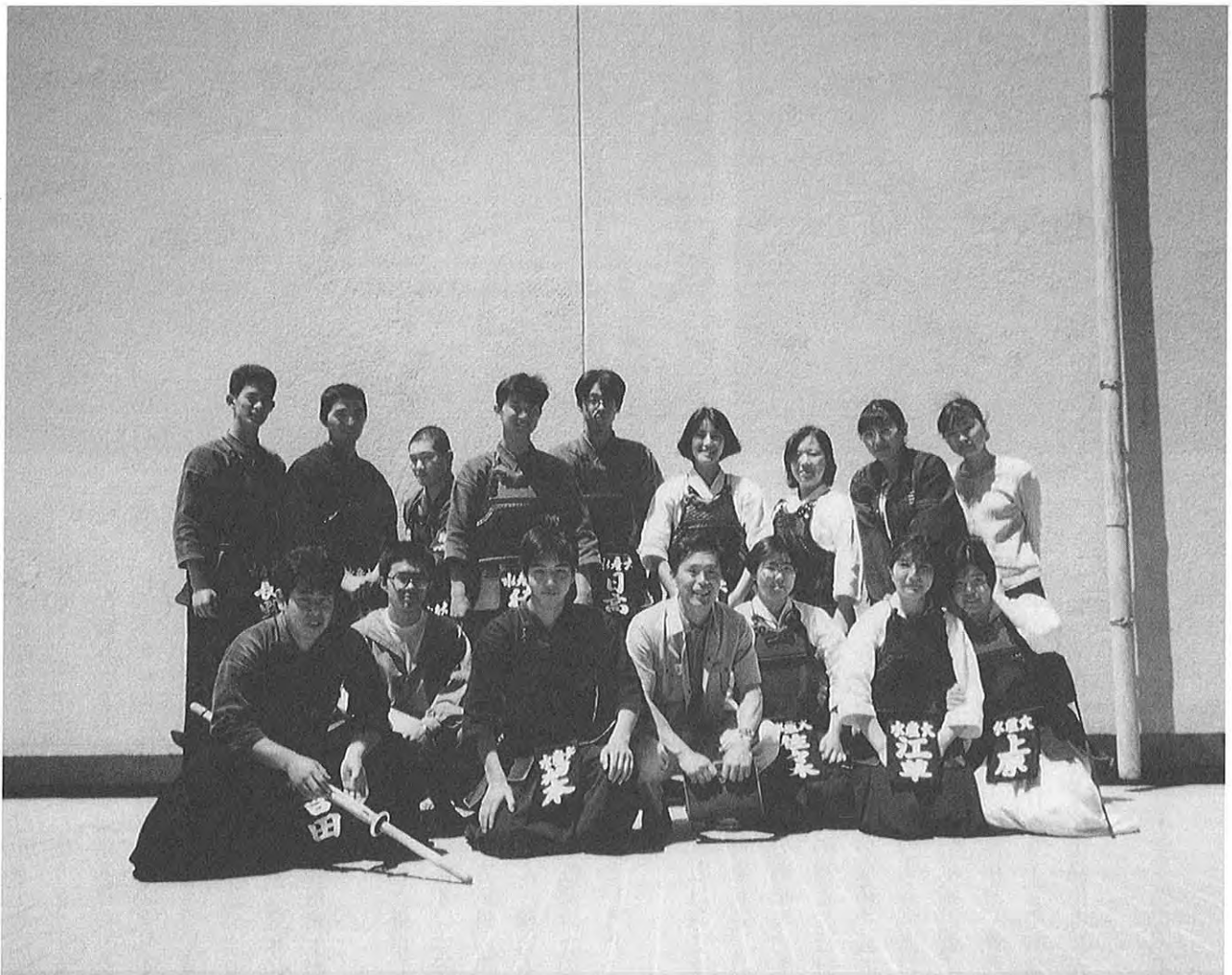
伝統ある我が大学は、OB会組織もしっかりしており、私達は、年に数回剣道部の近況を記し、OBの方々に送っています。OBの方々は、私達のためにカンパをしてくださり、部の運営を円滑に行なえるよう協力してくださっています。

●特徴は掛かり稽古

我が校の特徴ある練習内容は、掛り稽古です。掛かり稽古にも、レパトリーがあり、連続でやったりの一息でやったり、ふえの合図とともに面打ちの競争をしたりしています。きついのは追い込みで、追い込んだ後に、一本になるような力強い面を打ち込むことです。他に、足さばきの練習にも力を入れていきます。真つすぐな攻めからの面を打てるように、腰から踏み込むよう心掛けています。

私達は、水産大学校剣道部に入学したことを光栄に思い、誇りにしています。自分達が全国を狙えるよう、がんばっていきたくと思っています。

めざすは全日、 団結を力にして



平成六年中四国学生剣道優勝大会にて

● 聖カタリナ女子大学



—そのひたむきな 献身愛に学んで—



稽古風景



緑のきれいなキャンパス

昭和四一年、聖カタリナ女子短期大学として開学し、昭和六三年、聖カタリナ女子大学が創設されました。本学学名はキリスト教カトリック教会の代表的な聖女カタリナ（一三四七〜一三八〇）の名に由来しています。

剣道部は前部長の吉村脩先生により、昭和四七年に同好会として発足し、翌年に部に昇格しました。その後、木原資裕先生が部長兼監督となりました。

道場はなく、他のサークルと併用してリズム教室を練習の場としています。本学は女子大学であり、もちろん先生方以外の男性の姿は見かけることができません。練習も他の男女共学の大学とちがって女性だけなので、どうしてもスピードと力強さという点では、もの足りないものがあります。

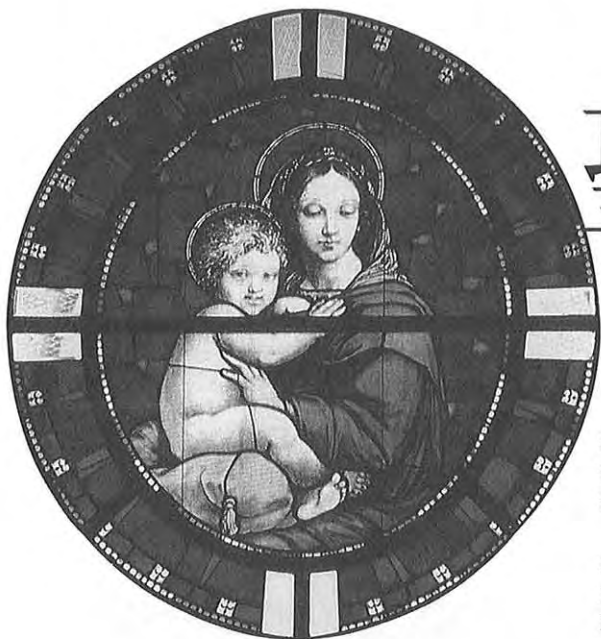
しかし、それをハンディとは考えずに、他の部分でカバーをする剣道を私達は目指しています。そして木原先生の御指導のもと、週六日約一時間半〜二時間の稽古にはげみ、各大会でもだんだんと、良い成績を残せるようになっていきました。その主な戦歴は、

●平成元年、中四国女子学生剣道選手権大会で山本雅美先輩（西大寺高出身）優勝。

●平成二、三年、全日本女子学生剣道選手権大会で加茂信美先輩（済美高出身）が二年連続ベスト八。

●平成四年、中四国女子学生剣道選手権大会

聖女“カタリナ”



創部 昭和48年
部長 吉村 脩
部員数 女子17名
計17名
主将 赤松 美保
主務 日野美和子
幹事 末松 恵美



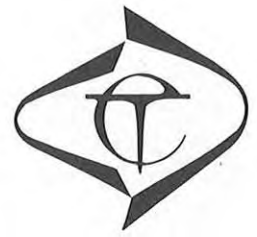
聖カタリナ女子大学のメンバー



聖カタリナ女子短期大学のメンバー

で香西貴子先輩（高松商業高出身）第三位。
●平成四年、中四国学生剣道新人戦で松田吏永先輩（高知商業高出身）第三位。
●平成五年、四国地区大学総合体育大会で杉本千鶴（宇和島東高出身）優勝。
●昭和六三年より中四国女子学生剣道優勝大会で団体戦優勝四回、二位一回、三位二回。全日本女子学生剣道優勝大会に七年連続出場。西日本女子学生剣道優勝大会では、平成三年三位入賞を果たしました。
しかし、私達剣道部をここまで育ててくださった木原資裕先生が、平成五年に鳴門教育大学に転任なされました。木原先生の御苦労がなければ、今の剣道部はありません、いかに木原先生の御指導が大きかったかを知りました。
その後、剣道部創立者の吉村脩先生を部長として、再び出発しました。現在、だんだんと、とまどいもなく、外部の方から練習に来てくださっている、愛媛県学校剣道連盟副会長でもあられる桑原琢一先生のもと、もの静かな校内に掛け声をひびかせて部員一同がんばっています。
教室での授業ばかりが練習ではありません。人間関係の輪を広げる機会をどれだけ多く見つけることができるかは、サークル活動ならではの喜びなのです。
クラブ活動に積極的に取り組むことは、私達自身を大きく成長させることでしよう。

春日川での日々



稽古着になれば女剣士



リズム教室での稽古風景

我が高松短期大学剣道部は、高松短期大学の児童教育学科設置の年である昭和四四年に創設されました。

●部員は七名

部員は児童教育学科と秘書科に分かれているため、稽古の時間をつくるのは大変でした。お互い授業の時間も違うので、五時間目がない限りは、できるだけ四時間目の終わった四時二〇分に稽古場であるリズム教室に集まり二年男子一名、二年女子三名、一年女子四名で稽古をしていました。しかし、女子一名（二年）が家の都合でどうしても部を辞めることになり、計七名で、切り返しから最後のかかり稽古までおよそ一時間半の稽古をしています。

●まずは一回戦突破が目標

平成六年に高松工専で行なわれた四国インカレでは無念にも一回戦敗退となり、その後はまた新たな気持ちで稽古を重ねました。広島で八月に行なわれた第二回中四国女子学生優勝大会では、またまた敗戦したものの、前回の試合より皆少しですが上達したように思えました。これからも稽古を積んで、せめて一回戦勝ち進んで二回戦までいきたいと思っています。

ところで、この大会を最後に二年生は引退、残された一年の私達は、わずか三名で稽古することとなり、しかも皆勉強の方が忙しいた

勝つために汗水流す

部員

植村 涼子 (児童教育科2年)
田崎 園子 (児童教育科2年)
地田 恵 (児童教育科2年)
漵上 (児童教育科2年)
竹本さおり (秘書科1年)
堀川めぐみ (秘書科1年)
三宅真紀子 (秘書科1年)



私服になれば現代娘



部員一同さあやるゾ! あと2人で全員になる

め、ほとんど皆が揃う時間がなく、練習もおろそかになり、この一二月に岡山で行なわれる大会に出場するものの、稽古数が少ないので、焦りを感じている今日この頃であります。

●合宿もコンパもない

我が剣道部には、合宿、コンパ、朝練などありません。しかし、短大ならではの、部員全員がOBの先輩方とは大変仲が良く、顧問の先生も、いろいろと相談に乗ってくださったり、ご指導してくださる方なので、そういう年間行事がなくとも、恵まれた部だと思っております。

●稽古場ができる!

稽古場はリズム教室といって、以前お隣の高松東幼稚園の体育館だった所をそのまま使用しているので、狭く、暗く、困っていたのですが、我が高松短期大学も、平成八年には大学になるのでリズム教室をとり壊し、新たに稽古場を設けてくれるそうで、その中には今までなかった剣道部専用の部室も設けられる予定なので、部員一同益々稽古をせねばという思いが深まっています。

●合コンや練習試合求めます

そして、この場を機会に全短大・大学にお願いがあるのですが、もし我が高松短大と練習試合やコンパ等をしてくださる短大・大学がありましたら、電話なり、手紙なり何でも結構ですので、幹事の堀川までご連絡ください。どうぞよろしくお願いいたします。